



—いなかの生き方図鑑—

不便な田舎の自由なくらし いなかの生き方図鑑

発行日：2021年 03月

発行：兵庫県丹波県民局

制作：NPO法人gift（ソシエテリベルテ・プロジェクト）

02 丹波P2-006A5

本書を無断で模写、複製することを禁じます。©兵庫県丹波県民局



目次

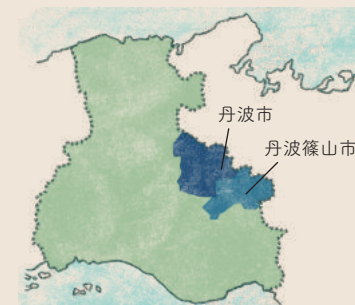
丹波篠山市と丹波市	2
目次	3
ふべんないなかのじゆうなくらし	4.5
いなかの生き方図鑑	6~29
ゲストハウスを営む	6.7
週末農業からの挑戦	8.9
有機農業に取り組む	10.11
クラフト作家のまち	12.13
社会的起業を志す	14.15
自由な子育て	16.17
複業で暮らす	18.19
二拠点居住	20.21
無ければ作る	22.23
ITベンチャー	24.25
カフェで起業する	26.27
食産業に関わる	28.29
いなかの家計簿	30
移住相談窓口・ ソシエテリベルテ	31



世界は変わった。
昨日までのあたりまえが、
今日は違って見える。
何もないことが不便に思っていたのに、
今はその空白から生まれる自由が愛しい。
互いは疎らなようでいて、
心はしっかりとつながっている。
たんばの田舎で暮らす。
それぞれの選択にみる
これからのライフスタイル。

丹波篠山市と丹波市

丹波篠山市と丹波市から構成される兵庫丹波は、本州一低い分水界を擁し、昔から交流の要所でした。北は城崎温泉や舞鶴港、南は神戸や大阪、京都へ1時間から2時間。霧深い地で育まれる豊かな食や歴史ある文化。起業家やアーティストも注目するおしゃれな田舎です。



いなかじゃできないなんておもってない？

じぶんのモノサシ

誰かに合わせる必要なんてない。

自分の中でちょうどいい「これくらい」を見つける。

気持ちがすっと自由になる。

着飾ることは無いし、身の回りの自然を活かして工夫すればいい。生活コストはぐんと下がる。

そもそもお金じゃない。誰かを支えること。誰かから頼られること。

そんな信頼関係がなによりの財産。

ひとつの仕事に縛られることさえない。

消防や奉仕作業で地域を守るのも役割のひとつ。

誰もがいろいろな顔を持ち、それぞれの人生を生きている。

あなたが持っていた「これくらい」は、ほんとうに「これくらい」ですか？

探してみよう、じぶんのモノサシを。



毎週のように行われるマルシェは若い世代が交流する場になっている。

丹波布や丹波焼なども作家を通して身近に触れる機会が多く、暮らしの文化度は高い。



人間と自然にやさしく。農という仕事は暮らしの中にある。

ふべんないなか
じゆうなくらし



森の遊び場は、それぞれの創意工夫や互いを守る行動が問われる。田舎ならではの子育てだ。

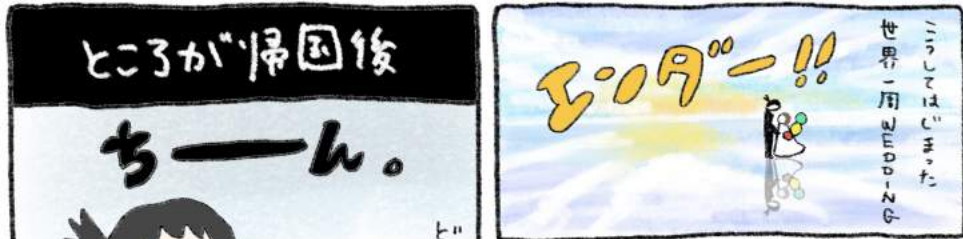
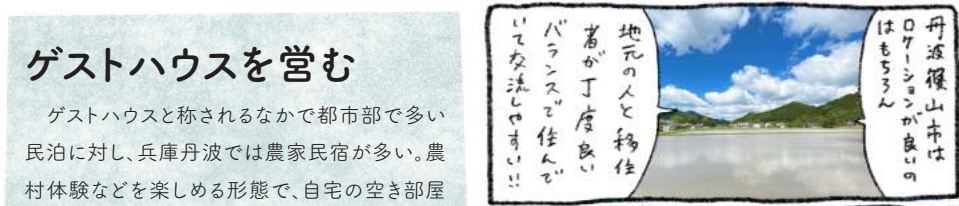
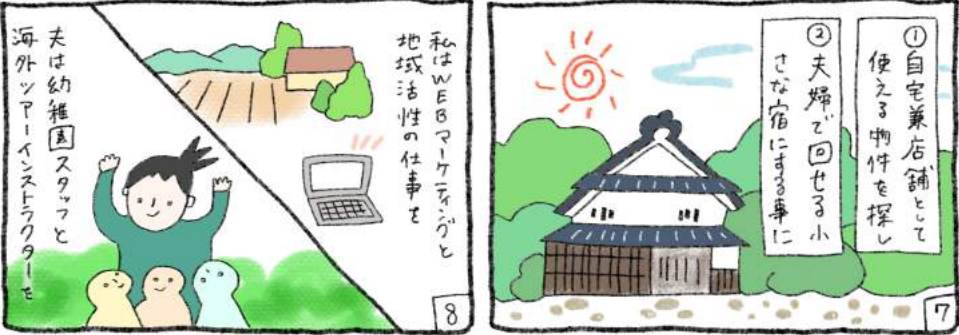
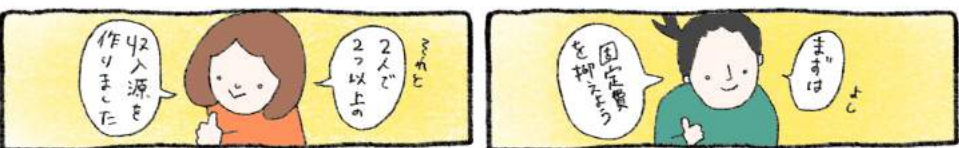


夢を叶えたのもつかの間… 世界を巡って辿り着いた 本当にやりたい事への道

丹波篠山市でゲストハウス「Aoashi GUEST HOUSE」を営む、オーナーの仲田友香さん。

昔から旅が好きだったという仲田さんの大きな夢は「世界一周をすること」でした。結婚後もこつこつと貯金し、とうとう夫婦で世界一周をしながらウエディングフォトを撮影するというコンセプトと共に旅を実現させました。

壮大な夢を叶えた二人ですが、帰国後は「ほんとうにやりたいことって何だろう?」ということをも、改めて考えて悩む日々。世界一周の経験を踏まえ、「どんな生き方がしたいか」といことを夫婦で話し合いました。そんな二人が、経済的に自立し生きていく方法もいろいろ計画しながらたどり着いた、「大事にしたいもの」や田舎で作っていく「生き方」とは?



ゲストハウスを営む

ゲストハウスと称されるなかで都市部で多い民泊に対し、兵庫丹波では農家民宿が多い。農村体験などを楽しめる形態で、自宅の空き部屋等を利用し、副業で営む移住者が増えている。あなたもまずは体験しては。

……この人にアクセス!……
Aoashi GUEST HOUSE
〇 兵庫県丹波篠山市川原223
〇 <https://aoashi-gh.com/>



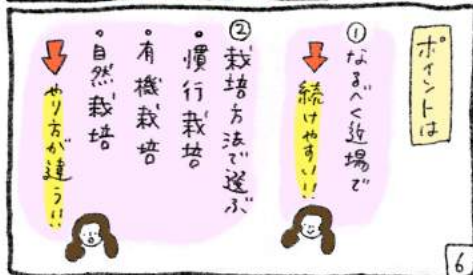
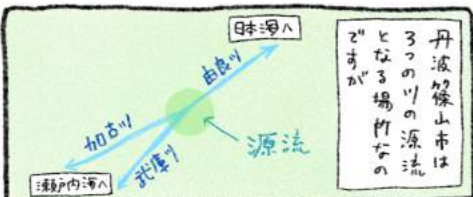
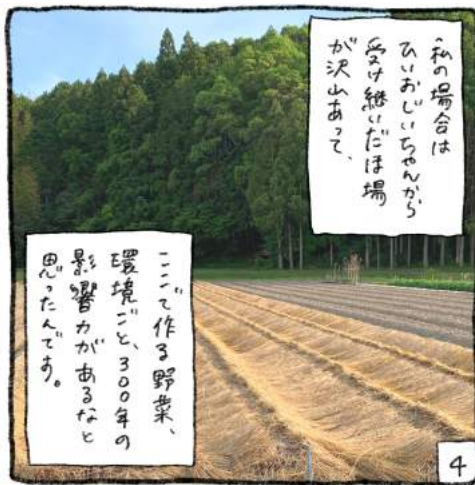
私の人生は3000年！ 地元の大先輩たちに 教わる週末農業のススメ

平日はOL、週末は農業を学び、実践しているという加賀野安那さん。

平日も週末もパワフルに活動し、二つの暮らしを営む彼女ですが、幼少期は体が弱く思うようにいかない辛い経験もあつたそうです。その時に感じた、食べ物を持つ役割の大きさが、有機農業への関心へと繋がりを、後に自ら実践するきっかけとなったのだとか。

そんな彼女の視点やモチベーションの大きさには驚かされます。「イマココ」の自分の行いが、300年後にも受け継がれ影響を与え得る。祖先から受け継いだ土地で暮らすからこそその視点から見られません。

加賀野さんの持つ問題意識や責任感は、とてもポジティブなことも印象的。地元の大先輩たちからの教えを一杯楽しむ、週末農業のススメです。



週末農業からの挑戦

農ある暮らしにあこがれる人は多い。本格的な農業は敷居が高いけれど、自分の好きな仕事をしながら農業に親しむ「半農半X」的生活なら入りやすい。兼業農家の多くは週末農業なわけで、現実的選択肢だ。

・・・この人にアクセス!・・・

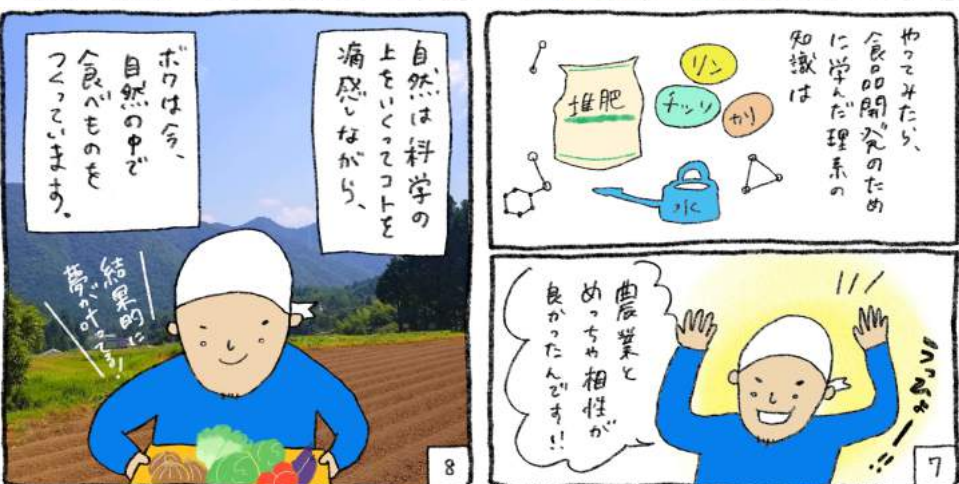
annakagano
Q <https://www.instagram.com/annakagano/>

直感に従った方向転換！？ それでも繋がっていた 昔からの夢

丹波市へ移住し7年目、今も旧称で呼ばれる笛路村で有機農業を始めて5年目となる横山湧亮さん。

いつでも自分の「直感」や「ワクワク」に従ってきた横山さんの子どもたちからの夢は、実は農家ではなく、「食品開発の研究者」になることでした。情熱のままに突き進んできたものの、夢を叶える目前のタイミングで、ふと立ち止まります。

「自分の本当に生きたい人生とは？」その疑問に向き合い、「どこで何をしている自分がワクワクするのか」と問い直した横山さん。結果、長年育んできた夢とは違う道を選択します。
当初は目標があったわけではなかったけれど、ただ直感に従って突き進むと決めたその先には、思わぬ形で昔からの夢との再会が待っていました。



有機農業に取り組む

有機農業といえば、土壌検査に基づく施肥計画など案外科学的なのをご存知だろうか。有機農業の里・丹波市では「農(みのり)の学校」で学べるほか、農家による研究グループもあり、仲間作りもできる。

……この人にアクセス!……

ふえのみち農園
〇兵庫県丹波市山南町
谷川309-33
〇 <https://fuenomichifarm.shop-pro.jp/>



暮らしの場も仕事も作品も なんでも一から手作り 自然体で楽しく生きる

夫婦で作家活動をするために丹波市へ移住したイラストス千尋さんは、伝統工芸のひとつである「丹波布」を織る作家さん。備前焼作家である夫のジエイムスさんの独立を期に移住を決めました。

モノづくりを生業とする二人は、工房や窯など、作家活動に必要な場所を自分たちで作ってしまっただろう。周りの人に手伝ってもらい、知恵を借りながら家の改修も行い、ギャラリースペースのある自宅も完成させました。

そんな、作ることへの思いとこだわりの強そうなイラストスさんですが、作家として、母として、妻として、そして働く女性としての区別はあまり無いそうです。全てを上手に織り交ぜながら、暮らしも仕事も「作ること」を楽しんでいる生き方を見せてくれました。

丹波布作家であり、
工芸品を紹介する
お店kaiburaも
仲間と共に運営する
イラストス千尋さん



伊丹 出身です

学校も卒業
してから会社員
として働いていた
のですが、夫の
ジエイムスと岡山
へ移住することに
なりました。



ジエイムスは
備前焼作家

祖父母の家があった
という事もあって、
移住はあんまり、
「お帰りの」という感
じで受け入れてもらえ
ました。



ようつて
きたな!

大変だった！
引越は、4トン
トラックで4往復
したんですよ!!



あと
2往復!

この時、私も機織り
をはじめました。



そして5年後—

作家として独立
したジエイムスの活動
の場として、私の祖母
の家があった丹波市
に住もうということに
なりました。



空も
つくろ
山あろこ!

丹波布の車を
「ご存知ですか?」



丹波布は、江戸の末期
から丹波地方で作られて
いた綿の織物。一度消
滅しかけたものの、昭和
に入って復興したんです。


丹波布の四原則

- ① 手織りである
- ② 草木染めである
- ③ 手織りである
- ④ 古くに綿糸を一部織り込む



かわいい
手織りもよう!

夫婦で作家活動
をする私には
工房が必要なのだ、
自分たちで作りました。
一人で完成!!



工房は土壁
を自分たちで、
後は知んたんに
めいっけい助けてもら
って6~7ヶ月かけて
完成しました。



「だけ」と最初の家が
空室まで、10年前
に近くの中古物件
を買いました。



おはようございます...
おはようございます...

色んな部屋をセレクト
して、ハイションして暮ら
していきます☆

After Before



今の家は生活の場と
仕事場、ギャラリーが
一緒になっていて、



仕事と、フライ
ハイトな時間の
区別もほとんど
ありませんが、
結構良い
もんですよ。



慣れるまでは
少し大変ですが、
習慣になると
家族との時間
も大事にできて
良いですよ!!

里山の環境も
良いですよ!!

丹波布も
見に来てね



子育てしながらの
家事、仕事ですが、



生活の合間に制作の
時間を作っています。



クラフト作家のまち

丹波篠山市の丹波焼、丹波市の丹波布は日用品が持つ美しさを代表する工芸品。作家も多く、交流も盛ん。それぞれの作家の作品が出品されるクラフト展等も開催されるので、ぜひチェックして訪れてみよう。

.....この人にアクセス!.....

工芸の店かぶら
〇兵庫県丹波市柏原町
柏原46

〇 <https://kabura-tambanuno.com/>



地獄を見て心に誓った！ お金を軸にしない 自然体で優しい生き方

自然農法で農業を営み、森の幼稚園「ふえっこ」や農家民宿、農園レストランなどを営む竹岡正行さん。「ひとり頑張らない生き方」を徹底して貫くと決めた竹岡さんですが、きっかけとなったのは壮絶な苦しみの経験でした。「そんな苦しみを他の誰にも与えてはいけない！」という強い誓いのもと模索した「お互いに満たし合う生き方」。人とつながりながら、自分に優しく、周りにも優しい生き方を実現させた経緯を語ってくれました。

「頑張らない生き方」なんて難しいのでは？ 結局は稼がないと幸せにはなれないんじゃない？

そんな心配をよそに、竹岡さんの「お金を軸にしない生き方」は、ちゃんと自分や周りの人を幸せに、エネルギーもお金も循環していました。



社会的起業を志す

兵庫丹波に暮らしていると意識しなくても地域課題を解決する事業を始めていたりする。日々仲間と交流し、考える中で社会的起業につながる風土がある。農地、森林整備、子育て、高齢者。起業の種の宝庫だ。

……この人にアクセス!……

竹岡農園
 〇兵庫県丹波市山南町
 谷川12787-1
 〇 <https://takeokafarm.com/>




全部自分たちで決めて良い！ やりたい事にとことん 向きあえる学校づくり

丹波篠山市にあるインターナショナルデモクラティックスクール「まめの木」を運営する西村源さん。

日本の学校を早々にドロップアウトし、高校からアメリカで学んだ西村さんは、日本の外で「生きるための大事な力」は何かを考え、多くのヒントに出会ったそう。丹波篠山市で農的な暮らしを送り、教育にも携わっていましたが、子供が生まれたことで公教育以外の教育を本格的に作ることを決めました。

子供たちが人としての生きる力をつけて、周りや協力しながらも自分の力で幸せになれるように成長するには、どんな教育が必要なのか。決まったことを教えるのではなく、大人たちも本気で考え、子供たちと真剣に過ごす毎日。発見を重ねながら、大人も子供も成長し続ける場になっているそうです。

1 インターナショナルデモクラティックスクール
2 母は日本人
3 丹波篠山市出身
4 父はアメリカ人
5 母は日本人
6 丹波篠山市出身
7 西村源さん
8 運営する
9 まめの木

1 中学で早々にドロップアウト、大工や造園の仕事をしていました。
2 それで、お水と進路を考えた結果、アメリカ
3 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
4 自給自足やパーマカルチャーに出会い、田舎で
5 人との意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
6 というのも、
7 人と意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
8 勉強がはじめて、楽しい感じがした。
9 勉強がはじめて、楽しい感じがした。

1 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
2 それで、お水と進路を考えた結果、アメリカ
3 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
4 自給自足やパーマカルチャーに出会い、田舎で
5 人との意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
6 というのも、
7 人と意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
8 勉強がはじめて、楽しい感じがした。
9 勉強がはじめて、楽しい感じがした。

1 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
2 それで、お水と進路を考えた結果、アメリカ
3 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
4 自給自足やパーマカルチャーに出会い、田舎で
5 人との意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
6 というのも、
7 人と意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
8 勉強がはじめて、楽しい感じがした。
9 勉強がはじめて、楽しい感じがした。

1 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
2 それで、お水と進路を考えた結果、アメリカ
3 20歳、が16の頃、月の手術を食ひ、長い入院生活のため、体が弱くなってしまった。
4 自給自足やパーマカルチャーに出会い、田舎で
5 人との意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
6 というのも、
7 人と意見を交わしたり、実践的な学習が、とても多かった。
8 勉強がはじめて、楽しい感じがした。
9 勉強がはじめて、楽しい感じがした。

自由な子育て

「丹波の森構想」を背景に、兵庫丹波では森で子どもたちを育む活動が盛んに行われている。さらにはこれらフィールドを活用したフリースクールや不登校児の居場所作りも。迷ったら一度見学に来てほしい。

……この人にアクセス!……

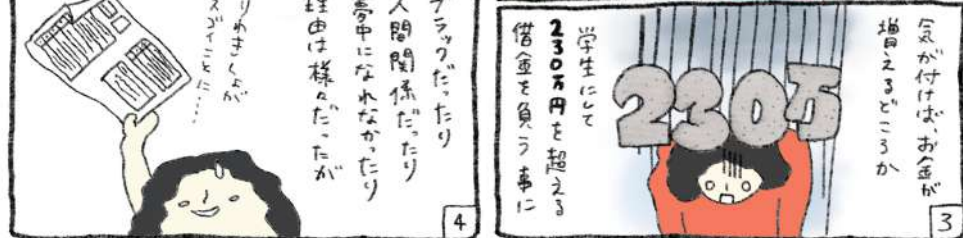
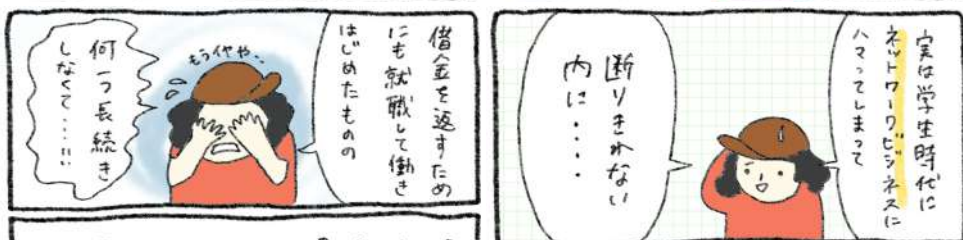
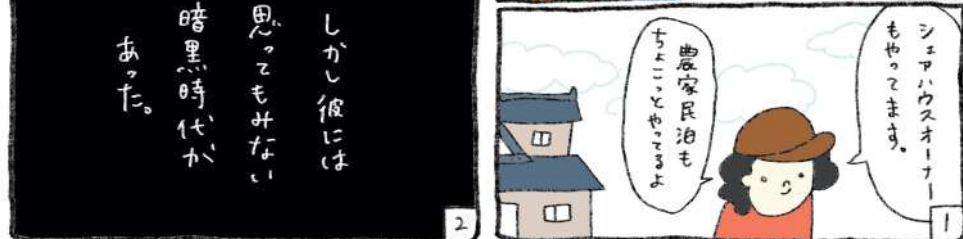
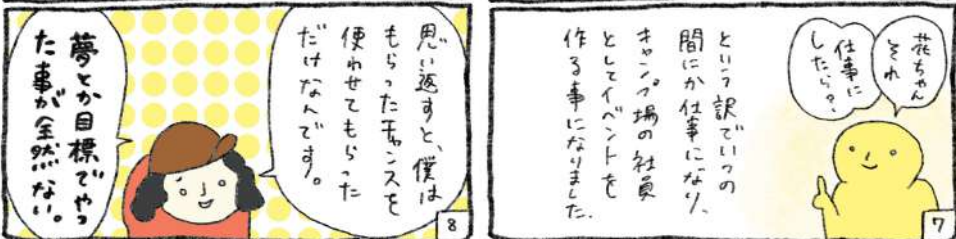
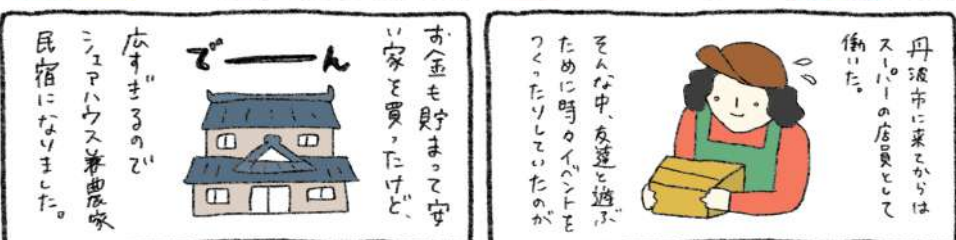
まめの木
 〇兵庫県丹波篠山市 垂水421-2
 〇 <http://sasayamaschool.ciao.jp/sasayama-freeschool/>

暗黒時代からの脱出！ 人とのつながりを大切に つかんだチャンスと幸せ

丹波市にあるバーガーショップ「BBQ & Burger BO」の支配人、プロモーション・ディレクター、イベントプロデューサー、シェアハウスのオーナーなど、八面六臂の活躍を見せる花田匡平さん。

華々しい活躍をしながらも親しみやすい人柄で、「みんなのお兄ちゃん」的存在として慕われている花田さんですが、実は過去にうつ病まで発症した「暗黒時代」がありました。

何をやってもし上手くいかず、タイムイングや運が悪いだけのことすら「自分自身が悪いのではないか」と自己否定する毎日。しかしある転機をきっかけに、人生が好転し始めます。今では、「あの頃に比べたらどんな状況も全部ラッキーだと思って生きてます」と、胸を張って話す花田さん。彼を暗黒時代から救った転換点とは？



複業で暮らす

兵庫丹波への移住者はいくつか稼ぎ口を持っている人が多い。「自分はこんなことしたい」と表明すると「試しにどうぞ？」と声がかかり、それが結局仕事になったという人も。そういう点、最先端の複業のまちだ。

……この人にアクセス！……

フラワーハウス
〇兵庫県丹波市春日町
下三井庄30-1

〇 <http://www.flowerplanning.com/>



「幸せ」ってなんだろう・・・？ 長い自己分析の末に 見つけた二拠点生活

田舎に暮らすには一ターンの、Uターンだけではなく、多拠点生活というのも選択肢の一つです。SNSコンサルや塾、生き方セラピヤなど、人にアドバイスをおくる仕事をいくつも持っている米田麻人さんは、神戸市と丹波篠山市の二拠点で活躍しています。

今では自己分析を軸に人の相談に乗る機会が多い米田さんですが、その昔自分のやりたいことや生き方についてひたすら悩んだのは、彼自身でした。

自分らしい「幸せ」がどこにあるのかとことん考えた先に、出てきた田舎への移住という選択肢。とはいえネットやSNSを存分に活用して、誰もが自分の価値観を発信できる今の時代、田舎との関わり方も多様であって良いのではないか？

拠点に縛られずに仲間とつながる、新しい暮らし方を実践中です。



二拠点居住

京都・大阪・神戸いづれへも1時間少しと都市部に近いのが兵庫丹波の特色。だから両方に軸足を置いて、二拠点を行き来しながら暮らしている人もいます。二つをつなぐことが起業のタネになったりも。

・・・この人にアクセス!・・・
株式会社 zeroziba
〇兵庫県丹波篠山市
下笹見909-2
〇 <http://www.zeroziba.com/>



そんなこと本当にできちゃうの？
フェスをやりたいなんて
思いつきで言ってみたら

Uターン組の吉竹恵里さんと西脇和樹さん。二人は「地元を出たからこそ分かるこの土地の良さ」や、「みんなにとっての日常の風景が非日常として切り取れる瞬間」を音楽フェスという形で表現すべく、タッグを組みました。

しかし、現実には甘くありません。集客も運営もプログラムも広報も、経験の無いなかで体当たりで挑む日々……。自分たちの仕事そっちのけで準備に取り掛かる毎日を振り返る二人は、「地獄のようだった」と苦笑い。

それでも仲間助けられ、反省と感謝と成長と、大きな感動があったというフェスづくり。「やりたい」という気持ちだけでやっちゃった「ゆえの失敗もあるけれど、二人の情熱と覚悟ゆえに集まってくれた仲間の魅力を大いに語ってくれました。



無ければ作る
フェスを主催と聞きたいへんなイメージだけけど(もちろんたいへんだけど)、無ければ作る、マルシェなどのイベントを自分たちで立ち上げるのが「たんば流」。ちょっと相談すればきっと誰かが助けてくれる。
.....この人にアクセス!.....
にいろ
Q 兵庫県丹波市山南町岡本260
Q <http://niiro.gift/>



不労所得を手に入れた結果：働かなくて良くなって、会社を作る事になった

ITとデザインで地域に貢献する会社、株式会社いなかの窓の代表取締役、本多紀元さん。
とてもマイペースな印象の本多さんは、元々は「働きたくない一心で、必死で努力した」と公言するほど、働くのが嫌だったそう。しかし、努力の末不労所得を手に入れた結果、自分でも予想しなかった気持ち湧き起こるのを感じました。

働きたくなかったはずなのに、気づくと自分以外の誰かのためにあれこれ施策を練っている。人のために働いて、その人が生き生きと喜んでる姿を見るのが喜びとなっていた。「何でだっけ？」と、飄々と笑う本多さんは、今日も「なんだか人の役に立ちたいな」という思いに動かされ、忙しい田舎暮らしを送っているそうです。



ITベンチャー

場所を問わないIT系企業に兵庫丹波は最適。ゆったりした環境の中で最先端の仕事に携わる。プログラマーやデザイナーなどのフリーランサーもいて、仕事の輪も思った以上に拡がりやすい。

……この人にアクセス!……
いなかの窓
○兵庫県丹波篠山市西新町179
リトル丹波ビル西棟103号
○<https://inakanomado.com/>

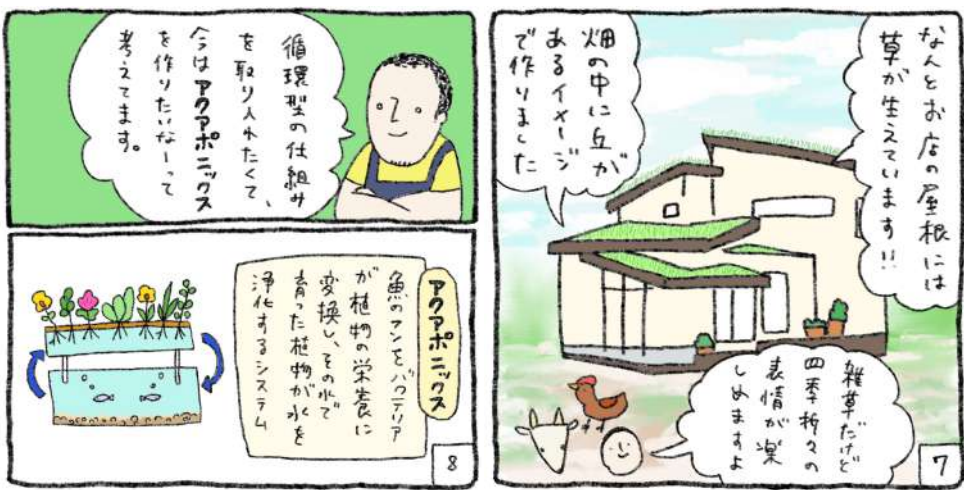


屋根は草原？

地球にもヤギにも優しい循環する暮らしづくり

「草原のような屋根のお店」として地元ではちょっと有名なふたばカフェ。以前は関東でサラリーマンをしていたというオーナーの西田博一さんは、実家の農業を継ぐためにUターンを考えていたと言います。そのための方法を模索する中で浮かんだのが、カフェでの起業。農業は栽培以外に販売など、さまざまな手間がかかりますが、自家調理する事でそれらを解消。お客様に喜んでいただける「質」の追求に力を注ぐことができました。

狩猟免許を取得し、冬場は鹿や猪猟にいそしむと言う西田さん。とれた肉は販売したり加工したり。西田さんにとって一年を通じた生活そのものが暮らしであり、仕事でもあり。そこには「ワーク」と「ライフ」を分離しない昔ながらの「人間の暮らし」がありました。



カフェで起業する

兵庫丹波に多いのが、田園の中の古民家や旧街道の商家等を利用して営まれるおしゃれなカフェやレストラン。もちろん食材にはこだわって、地元の味を存分に楽しめる。移住者による店も多い。

.....この人にアクセス!.....

futaba cafe
 〇兵庫県丹波篠山市
 八上内甲85-1
 〇 <https://www.futabacafe.com/>

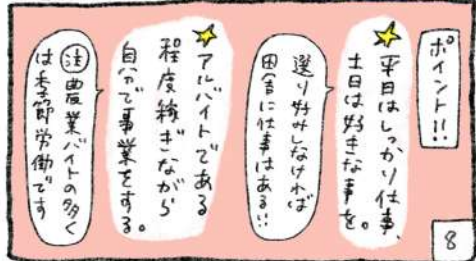
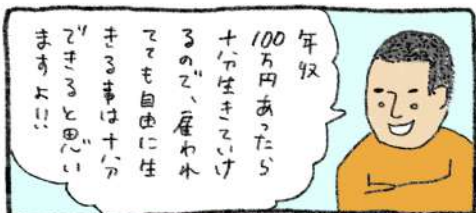
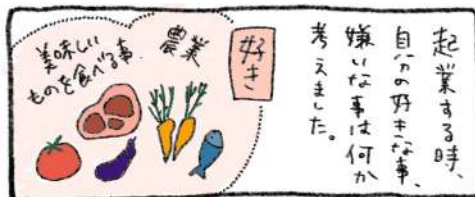



まずはやりたくない事を知れ！ 元格闘家流、稼がずに 豊かに生きる秘訣

元格闘家のパンチー山内さんは、移動式の八百屋さんを営んでいます。美味しいものが大好きなパンチーさん自身が選んだ兵庫丹波の旬の野菜を都市部へ販売、その人気は年々高まっています。

元々は農業を目指していたという彼ですが、それまでの経験値と、冷静な自己分析による判断軸をもとに八百屋としての起業を決めました。

自分の好きなことや得意なことに集中し、それでも自由で豊かに暮らしたいと志すパンチーさん。無駄を徹底的に省く冷静な姿勢は、さすが元格闘家です。パンチーさんの心地良い暮らしには自分軸がしっかりとあり、シンプルながらもとても豊かなものでした。あれもこれもと迷っている人にぜひ読んで欲しい、稼がなくても豊かに生きる秘訣とは？



食産業に関わる

農家と消費者をつなぐ「食産業」分野での起業に注目が集まっている。加工して輸出を目指したり、生産地と消費地をつないで商社的な役割を果たしたり。丹波ブランドを活かすアイデアはあなた次第。

……この人にアクセス!……

パンチーファーム 山内青果店
 兵庫県丹波市春日町
 野村2000-1-201
<http://yamauchiseikaten.info/>

丹波篠山暮らし案内所「クラッソ」
 ◎月曜～日曜10:00～17:00
 休館日：年末年始（臨時休館あり）
 ○丹波篠山市黒岡191
 丹波篠山市民センター内
 ☎079-552-4141
 🔍https://classo.jp/



たんば「移充」テラス「Turn Wave」
 ◎月曜～金曜日：柏原総合窓口
 （○丹波市柏原町柏原3619）
 ◎土曜日：休日窓口
 （○丹波市春日町松森296-1）
 受付：9:00～17:00
 ☎090-2705-4110
 🔍https://teiju.info/



その気になったらご相談を！
移住相談窓口
 兵庫丹波には二つの移住相談窓口があります。丹波篠山市の丹波篠山暮らし案内所「クラッソ」と、丹波市のたんば「移充」テラス「Turn Wave」です。
 いずれも元気な相談員が、全力であなたの質問にお答えします。物件についての相談はもちろん、実際に暮らし始めてからの地域とお付き合いや、移住された先輩とのネットワークづくりなど、心強い味方です。

ソシエテリベルテ



ソシエテリベルテは、「自由な社会」を意味するわたしたちの造語です。

わたしたちはともすると自分の常識に縛られて生きています。

でも、少し違った価値観から見つめ直すことで、

もっと自由な選択が可能なのだと気づくときがあります。

ローカルには、都市部と違った生き方をしている人がたくさんいます。

そんな方々の価値観に触れていただき、価値観をシフトするきっかけにいただければ。

わたしたちはそう考え、都市部でのカフェの開催やオンラインイベントなどを通して、

自分再発見の機会を設けています。

最新イベントはサイトやFacebook、メール等で配信しています。ぜひわたしたちにアクセスしてください。



ソシエテリベルテ

https://societe.gift.sc/



いなかの家計簿

＼1ヶ月の暮らしぶりをきいてみました！



30代女性・団体職員
シェアハウス居住

同居人とシェアすることも多い

収入		支出	
給与	200,000	食費	10,000
合計	200,000	家賃	40,000
		(共益費・水道光熱費込)	
		通信費	10,000
ガソリン代	10,000	知人の店で外食したり	
交際費	20,000	実用優先になったため衣服費は激減	
教養娯楽等	20,000	クラウドファンディングや地域イベント参加等広獲したい所でお金を使う	
保険料等	20,000		
奨学金返済	10,000		
消耗品等	20,000		
その他	40,000		
合計	200,000		



30代夫婦・共働き
子ども2人 / 新築戸建て
(4歳、4か月)

知り合いから頼まれて

近所からもらいものもある一方、平飼い卵や自然栽培野菜など「誰から買うか」にこだわってお金を使う

こだわって建てたので季節変動は少ないが、LPガス等は高め

収入		支出	
夫給与	210,000	食費	35,000
(会社勤務)		住宅ローン	75,000
妻給与	120,000	水道光熱費	20,000
(育休手当)			
妻副業	30,000		
(事務手伝い)			
合計	360,000		
通信費	15,000		
ガソリン代	10,000		
子ども園	5,000		
奨学金返済	21,000		
教養娯楽等	3,000		
保険代	17,000		
(自動車含む)			
自治会費	2,000		
消耗品等	10,000		
合計	195,000		

1人1台は必須だが、近所への出勤なのでそれほどかからない

夜の外食は激減、子どもを遊ばせるのも近所の公園でお金がかからない

ウィンドウショッピングが減って衝動買いが無くなった



40代夫婦・新規就農1年目
二人暮らし / 賃貸戸建て

趣味を活かしたパートが見つかった

年間最大150万円×5年間、所得により減額あり

これで酒類等込み、外食費がからなくなった

収入		支出	
妻バイト料	100,000	食費	30,000
新規就農補助金	100,000	家賃	50,000
合計	200,000		
水道光熱費	20,000		
ガソリン代	15,000		
通信費	15,000		
貯蓄型保険料	50,000		
自治会費	1,000		
消耗品等	10,000		
合計	191,000		

水道料金が高く、光熱費が上がる

営農会計(年間)

初期投資.....150万円	* 軽トラやトラクター、草刈り機等、始めるには貯蓄が必要
売上.....100万円	* 3反の野菜、出荷先は直売所など(3年後は300万円目標)
販売手数料.....30万円	* 平均して売上対比30%くらい
農業原価.....35万円	* 肥料、梱包資材、燃料代、種子等